

まちのスポーツ振興を支える

ソフトボール協会 50 周年記念式典

4月26日、錦江町ソフトボール協会設立50周年記念式典が総合交流センターで開催されました。式典では、これまでの功績を讃え、株式会社白玉醸造様と「池田OB」「コンパニーズ」の2チーム、迫重美氏に感謝状を贈呈。また、前鹿屋農業高等学校硬式野球部の今熊浩輔監督による講演も行われました。



事務局では50周年記念誌を作成。興味のある方は事務局までご連絡ください。

リーダーを務める2年濱田愛紗^{あいさ}さんは「錦江町は自然がいっぱいで大好き。茶葉の良さを生かした商品を作っていきたい」と語りました。



地域再生プロジェクト 始動！

純短生と錦江町産茶で商品開発

本町と包括的連携協定を結んでいる鹿児島純心女子短期大学の学生約40名が本町を訪れ、ほうじ茶作り体験や影絵制作などを行いました。昨年度は耕作放棄地となっている茶畑で摘んだ茶の実からフレグランスオイルを作り、商品化しました。今年度はお茶をベースにしたハーブティーと、スキンケア化粧品を学生とともに商品開発する予定です。

水産試験場で育てられたヒラメの稚魚。体長およそ5～8cm。児童たちは、バケツに移した稚魚を桟橋まで運び、放流しました。スーパーで売られる大きさになるまで2～3年かかるそう。



町内の3年生 郷土めぐり

ヒラメの放流体験

5月23日、町内の3小学校の3年生36名が社会科の学習で「町内郷土めぐり」を行いました。大根占漁港を訪れた児童たちは、ヒラメの稚魚およそ1000匹を桟橋から海へ放流しました。参加した田代小学校の上八重碧^{あおい}さんは「大きくなってね、という気持ちを込めて海に戻した」と笑顔で語りました。

第28回渋谷・鹿児島おはら祭

「錦江町大根占・田代踊りたい」出場

東京都渋谷区にて、第28回渋谷・鹿児島おはら祭が開催され、「錦江町大根占・田代踊りたい」が出場しました。「錦江町大根占・田代踊りたい」は関東在住の町出身者を中心に結成され、今回が6回目の参加。神川海岸から望む錦江湾の夕日をイメージした揃いの法被で、錦江町をPRしていただきました。



今年は関東51連と鹿児島島の11連が出場した「渋谷・鹿児島おはら祭」。約2,250人が渋谷道玄坂を踊り歩き、盛り上がりを見せました。

本町からは、新田敏郎町長、浪瀬亮祐議長、池田行徳副議長、水流秀作商工会長、相談役の諏訪原美義さんが参加されました。



コロナ禍を経て 6年ぶりの開催

第30回関西大根占会総会

5月11日、大阪市にて第30回関西大根占会総会が開催されました。コロナ禍を経て、6年ぶりの開催となった今回は、関西在住の錦江町大根占地区出身者約40名が出席。久々の再会となり、思い出話に花を咲かせました。また、会場では錦江町の特産品販売も行われ、故郷の名品を手し、懐かしむ声が聞かれました。

各国の文化を共有

多文化共生交流会を開催

4月27日、4月中旬がお正月のミャンマー・カンボジアをテーマに、多文化共生交流会が開催されました。錦江町で働く技能実習生等と参加を希望した町民の約70名が参加し、ミャンマー・カンボジアのお正月に開催される「水かけ祭り」をイメージした遊びや、各国の歌とダンスが披露されました。交流会を企画した町国際交流員のアインさんは「皆さんの笑顔を見ることが出来て、とても嬉しかった」と話しました。



5月1日現在、町には111名の外国人の方々が暮らしています。互いの文化を知ることが、交流を深めるきっかけとなりました。

(有)花瀬農園の小手川和久^{かずひさ}さんは「11年ぶりの郡共出品で上位入賞でき、大変嬉しかった。今後も優良牛生産に貢献できれば」と語りました。



肝属地区春季畜産共進会

(有)花瀬農園 ひでみ号 2席受賞

5月9日、肝属中央家畜市場（鹿屋市）にて肝属地区春季畜産共進会が開催され、本町から9頭の肉用牛が出品されました。月齢ごとに分けられた3部門で、発育状況や体型などをもとに厳正な審査が行われ、若雌3区では(有)花瀬農園のひでみ号が2席を受賞。田代地区はすべての出品牛が最優秀賞を受賞し、団体優勝に輝きました。